

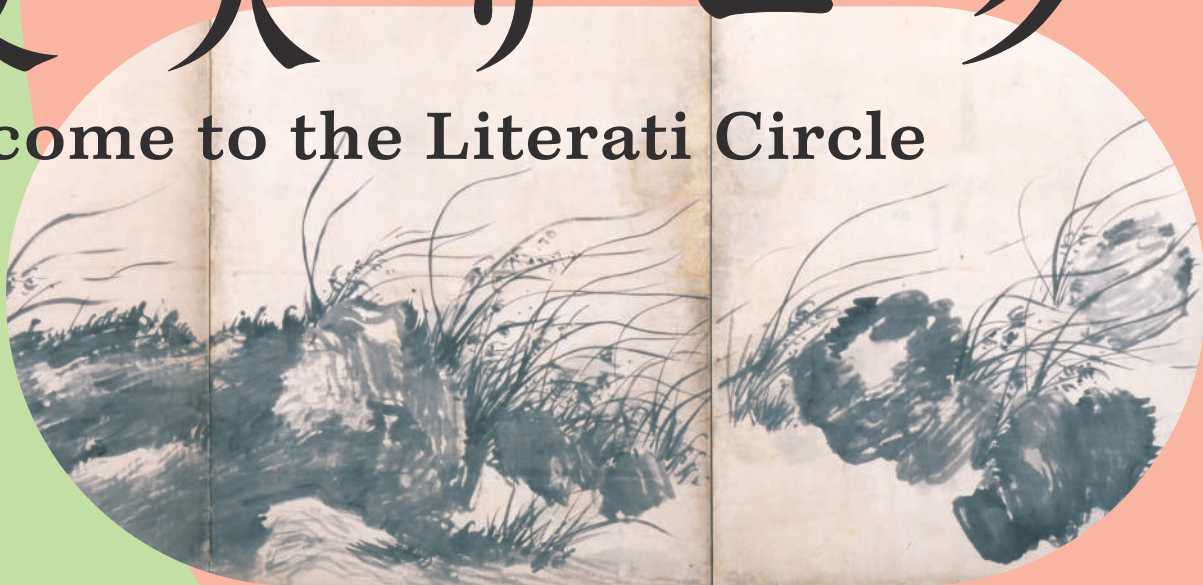
特別企画展

文人サークル

Welcome to the Literati Circle

淇園・鶴亭・蕪村たちがお出迎え

へようこそ



2023年8月18日[金]—→9月24日[日]

休館日：毎週月曜日（ただし、9月18日〈祝〉は開館し、翌19日〈火〉が休館）

開館時間：午前10時～午後5時（入館は午後4時半まで） 入館料：一般 630円／高校・大学生 420円／小学・中学生 無料

※20名以上の団体は相当料金の2割引で引率者1名無料 ※「障がい者手帳」をお持ちの方とご同伴者1名2割引

〔上〕蘭石図屏風（部分）与謝蕪村筆 大和文華館蔵 〔左下〕墨蘭図（墨竹・墨蘭図十枚のうち）（部分）鶴亭筆 個人蔵 〔右下〕指墨竹図（部分）柳沢淇園筆 個人蔵

大和文華館

——奈良・学園前——

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6

電話 0742-45-0544 アクセス：近鉄・奈良線（学園前駅）下車 徒歩約7分



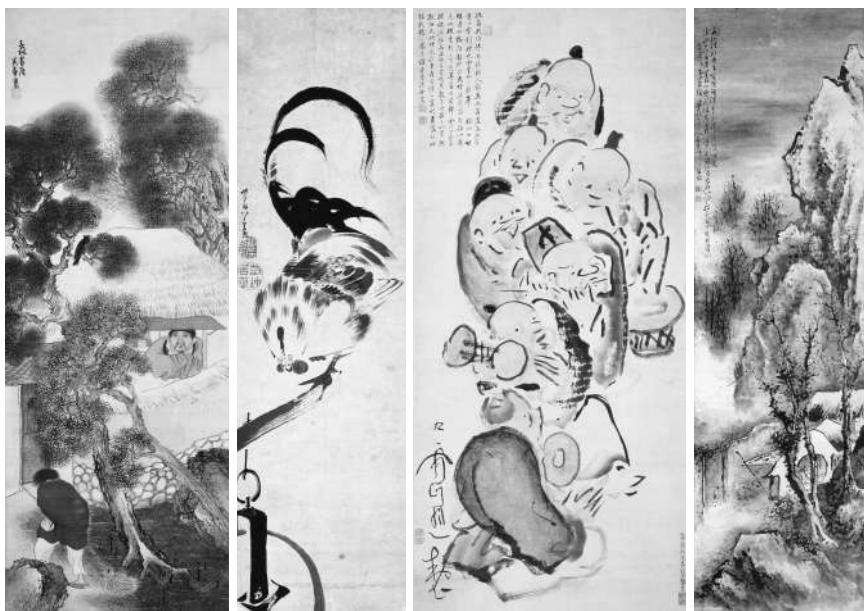
[左] 翰墨隨身帖 田能村竹田筆 大和文華館蔵 [右] 山水図巻(部分) 岡田半江筆 関西大学図書館蔵

文人サークルへようこそ

特別企画展 淇園・鶴亭・蕪村たちがお出迎え

Welcome to the Literati Circle

Japanese intellectuals who admired the literati of China frequently interacted with one another in ways that transcended social rank. Peering into the works created through their interactions, one feels as though one has become a member of the literati circle.



[左から] 春林書屋図 呉春筆、釣瓶に鶏図 伊藤若冲筆、七老戯楽図 池大雅筆、閑屋秋思図 高其佩筆(いずれも大和文華館蔵)

江戸時代中期頃より、画譜の舶載や黄檗僧の来日などによって、中国の明・清時代に隆盛した文人文化が日本に伝わってきます。中国の文人とは、身分的には高級官僚であり、治国・修身のための幅広い知識を持ち、詩書画に優れることが理想とされました。日本においては様々な身分の人々が文人文化に関心を持ち、中国の学問・教養を深く学び、詩書画の創作を楽しみ、文人的な生き方を目指しました。武士や町人、農民といった身分を越えた文雅な交流は日本の文人文化の特徴であり、関心や志を同じくする人の輪——文人サークル——が豊かに重なり合いながら発展しました。

本展観では、柳沢淇園、鶴亭たち、与謝蕪村、呉春たち、岡田半江・田能村竹田たちなど、主に西の文人サークルに注目し、初公開の鶴亭作品をはじめ、交流が育んだ清新な絵画作品を展示します。

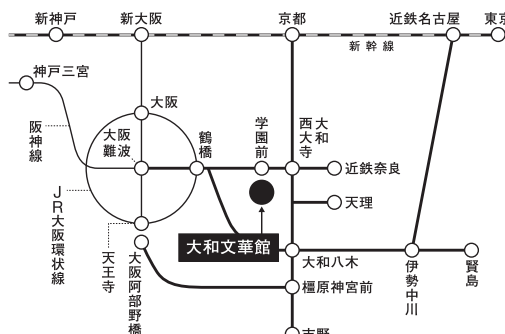
特別講演	9月17日(日)午後2時・講堂「江戸時代における文人画家たちの交流を楽しく語ります」 関西大学名誉教授 中谷伸生氏
日曜美術講座	9月10日(日)午後2時・講堂「初公開の鶴亭作品をめぐって」当館学芸部課長 宮崎もも
講座 美術の窓	9月3日(日)午後2時・講堂 連続講座「歌麿一版画で心情の描出を試みる」 第2回「歌麿、女絵師の頂に〜歌麿様式の確立、美人大首絵の登場、歌麿流似顔絵、版技法の工夫」 当館館長 浅野秀剛
列品解説	毎週土曜日 午後2時 当館学芸部による
無料招待デー	9月15日(金)

学生(高校・大学生)無料招待デー

8月19日(土)・20日(日)・26日(土)・27日(日)は学生証提示で入館無料



近鉄・奈良線(学園前駅)下車、南出口より徒歩約7分、無料駐車場あり



大和文華館

奈良・学園前

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6
TEL (0742) 45-0544 FAX (0742) 49-2929
近鉄・奈良線(学園前駅)下車 徒歩約7分

大和文華館ホームページ
<https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/yamato/>



@yamatobunkakan